

建築コンセプト

自

1932年に創業した旅館平野屋。およそ90年の歴史をもつ旅館である。

その長い年月は、当時の新築の姿とは違った、別の景色を生み出した。

擁壁や外壁に少しずつ苔が侵食し、半分自然、半分人工のような景色である。

高度経済成長期を経験した日本は令和に変わり、かつての工業製品や人工物への憧れとは少しずつ変化し、自然の癒しへの憧れがより強くなっている。

人々はサウナ体験を通して『ととのう』という行為に新たな価値を生み出している。

それは、自分の内部を意識する特別な時間である。

自分を見つめなおす時間を包み込む建築は、

あえて建築という主張を示さず静寂で情報の少ない空間設計を心掛けている。

空間を構成する素材はシンプルで、一つ一つが静かに存在する。

部屋から見える自然と、滞在者が主役の空間である。

自然の風景が滞在者を慰めるかのように、風景をより際立たせる穏やかな空間構成を心掛けることで季節や天候など周囲の変化に染まる『ととのい』空間が生まれる。

晴れの日には、室内に光が注ぎ、曇りの日には優しく照らす。

雨の日には苔を伝い、岩から流れ出る音が美しく反響する。

そういった当たり前で、特別な景色が人々の内部を刺激する。

itoto architects

無許可の転載、複製、転用、
第三者への譲渡はおやめください。